

授業改革と 動き育てる組織づくりの **ススメ** vol.5

第5号で紹介するのは、石狩管内教育推進の重点1の「対話」を重視した授業改革と、ICTを有効活用した授業改革の推進により、自己の考えが広がり、深まる場面を工夫している事例です。

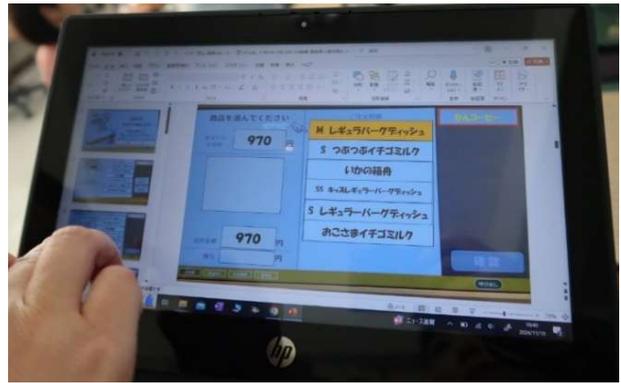
対話を重視した授業改革とICTを有効に活用した授業改革の実践事例

恵庭市立恵庭小学校 第1学年 国語



端末を使って、車の「しごと」と「つくり」に着目して自分の考えを整理していました。児童が自分の考えと友だちの考えを比べながら価値交換を行うことで、自分の考えを明確にし、事柄の順序に沿って構成を考えることができました。

江別市立文京台小学校（特別支援学級）



飲食店で注文する際の画面を端末上に再現し児童が自ら操作できるようにしていました。児童は、所持金の中から注文できるメニューを考え、注文したり、友だちが注文したものを聞いたりして、場面や状況を把握しながら自立活動の学習に取り組んでいました。

新篠津村立新篠津小学校 第3学年 算数



図形の問題に取り組み、考えたことを端末に書き込むことで、自分の考えを表現していました。友達の考えとの共通点や相違点を比べることで、円の半径の特徴について理解を深めることができました。

北広島市立東部小学校 第2学年 算数



算数のかけ算では、同じ数のまとまりに着目しながら、自分の考えを図や式を使って端末で表現していました。端末を見ながら友達と対話し、自分の考えと似ているところや違うところを伝え合うことができました。

【担当から】

資質・能力の確実な育成・定着に向け、「対話」やICTの活用により、全ての子どもが自らの考えと他者と価値交換を行い、子ども一人一人が活躍したという時間をもてる授業改革を進めてください。
(義務教育指導班主任指導主事 岸 依美)